

本県では、循環器病対策を推進するため、令和4年3月に『香川県循環器病対策推進計画』、令和6年3月には『第2期香川県循環器病対策推進計画』を策定した。本計画は、健康寿命の延伸等を図るための脳卒中、心臓病その他の循環器病に係る対策に関する基本法第11条に基づいており、令和6年度から11年度までの6年間の計画期間としている。

## 令和6年度の取組み

### 1 脳卒中関係

#### (1) 脳卒中の予防や正しい知識の普及啓発

##### ①世界脳卒中デーに合わせた啓発の実施

令和6年10月29日(火)の世界脳卒中デーに合わせ、県と日本脳卒中協会香川県支部との合同で高松シンボルタワー外2箇所においてブルーライトアップを実施するとともに県のSNS等を活用した広報を行った。

さらに、令和6年10月20日(日)に香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、中讃地域脳卒中・心臓病 県民公開講座「生涯大切にしたい脳と心臓」を坂出市民ホールにて開催した。

また、令和7年2月8日(土)に、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスでも、同様の県民公開講座を開催した。

##### ②香川健康づくり推進セミナーでの講演の実施(令和6年10月2日(水))

香川産業保健総合支援センター主催の香川健康づくり推進セミナーにおいて、県が講師依頼し、産業保健スタッフ、人事労務担当者等労働者の健康管理に携わる方を対象に働く人のための脳卒中予防と健康づくりに関する講話を、サンメッセ香川にて、行った。

テーマ「働く人のための脳卒中予防と健康づくり」

講師 香川大学医学部附属病院 総合診療科/

脳卒中・心臓病等総合支援センター 副センター長 川西 正彦 先生

##### ③令和6年度産業保健研修会の開催(令和6年11月1日(金))

香川県・香川産業保健総合支援センターが主催で、産業保健スタッフ、人事労務担当者等労働者の健康管理に携わる方を対象に、過重労働防止に関する講演会をオンラインにて開催した。

講演Ⅰ「過重労働解消キャンペーン」

講師 香川労働局監督課担当官

講演Ⅱ「脳・心臓疾患の労災認定基準」

講師 香川労働局労災補償課担当官

講演Ⅲ「退職までイキイキと働くために大切なこと」

講師 香川大学医学部附属病院 総合診療科/

脳卒中・心臓病等総合支援センター 副センター長 川西 正彦 先生

## (2) 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

### ①「令和5年度香川県脳卒中患者実態調査」の実施

県内の脳卒中患者の治療の実態を明らかにし、効果的な脳卒中对策を検討する基礎資料とすることを目的として、県内の脳卒中急性期治療に係る医療機関を対象にした実態調査を、香川大学に委託して実施した。

令和6年9月9日(月)開催の脳卒中部会において結果を報告し、脳卒中の急性期における医療体制においては、ある程度充実しているが、地域差(東讃地域と小豆島における体制が整っていない。)があり、治療や退院後リハビリの継続が課題であることが議論された。そのため、まずはシームレス研究会等既存の団体で、脳卒中を標榜していなくても、脳卒中患者のリハビリを受け入れている施設の実態を把握し、情報を共有することで、リハビリにおける地域差の是正に貢献することができるのではないかと意見をいただいた。

また、介護支援専門員など、多職種連携をする上で、循環器病の現状を知らない方に対しては、現状を知っている委員からの周知も検討できればよいとの意見をいただいた。

### ②脳卒中に係る地域連携促進事業の実施

令和6年度中、香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、脳卒中地域連携クリティカルパス及び脳卒中あんしん連携ノート等の活用・普及を図りながら、「高松・東讃地域シームレスケア研究会」を中心に、「香川シームレスケア研究会」や県内医療機関等と連携し、多職種参加による検討会や勉強会(講演会)等を開催している。

## 2 心疾患関係

### (1) 心疾患の予防や正しい知識の普及啓発

#### ①健康ハートの日に合わせた啓発の実施(令和6年8月10日(土))

健康ハートの日に合わせ、県と日本循環器協会香川県支部との合同で高松シンボルトワー、香川県立白鳥病院においてレッドライトアップを行った。さらに、県のSNS等を活用して広報を行った。

#### ②令和6年度産業保健研修会の開催(令和6年11月15日(金))

香川県・香川産業保健総合支援センターが主催で、産業保健スタッフ、人事労務担当者等労働者の健康管理に携わる方を対象に、治療と仕事の両立支援に関する講演会をオンラインにて開催した。

講演Ⅰ「心疾患の治療を続けながら働く方の支援に向けて」

講師 香川大学医学部附属病院 総合診療科/

脳卒中・心臓病等総合支援センター 副センター長 石川 かおり 先生

説明「事業場における治療と仕事の両立支援のためのガイドライン」

講師 香川産業保健総合支援センター

### ③中讃地域脳卒中・心臓病 県民公開講座の開催

令和6年10月20日(日)に、香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、中讃地域脳卒中・心臓病 県民公開講座「生涯大切にしたい脳と心臓」を坂出市民ホールにて開催した。

また、令和7年2月8日(土)に、丸亀市綾歌総合文化会館アイレックスでも、同様の県民公開講座を開催した。

### ④産官学連携プロジェクトによる啓発の実施

産官学連携プロジェクト(※1)により以下の取組みを行った。

#### (i) NICETOWN 6月号による普及啓発

香川大学医学部 循環器・腎臓・脳卒中内科学 南野哲男教授より、小学生の親子との対談を通して、健康診断を受ける必要性や、健診結果を機に親子で健康について考える重要性について投げかける記事をNICETOWN6月号に掲載した。

#### (ii) 四国新聞による普及啓発

「きょうから予防！循環器病～香川県民のハートを守る座談会～」をテーマに、次の出演者が、香川の循環器病の現状や予防、対策の方向性について意見を交わし、令和6年12月14日(土)の四国新聞に記事を掲載した。

#### 座談会出演者

香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男 先生

香川県薬剤師会 副会長 木村 昭代 先生

高松ささき内科ハートクリニック院長 佐々木 英之 先生

香川県理事 星川 洋一

#### 聞き手

フリーアナウンサー 中野 美奈子 氏

### (2) 保健、医療及び福祉に係るサービス提供体制の充実

#### ①リハビリテーション等の取組みにおける方向性についての協議を開催

(令和6年7月29日(月))

心疾患部会で、リハビリテーション等の取組みにおける方向性について協議した。支援者の見識不足や心臓リハビリテーションが実施できる施設間の情報共有不足、心臓リハビリテーション実施可能な回復期リハビリテーション病床が少ないこと、日本心臓リハビリテーション学会がホームページで心臓リハビリテーションが受けられる施設と公表されていても実際は難しい場合もあり確認が随時必要であることなどが課題であることが議論された。

まずは、香川県医師会にご協力を得ながら、日本心臓リハビリテーション学会が公表している「心臓リハビリテーションが受けられる施設」を心疾患部会委員の職域、医療機関、住民の方に情報発信してはどうかとの意見をいただいた。

## ②心疾患に係る地域連携促進事業の実施

令和6年度中、香川大学医学部附属病院の脳卒中・心臓病等総合支援センターに委託し、県内中核病院や香川県産官学連携プロジェクト等と連携し、多職種参加による検討会(協議会)や勉強会等を開催している。

## ③産官学連携プロジェクトによる勉強会等の実施

産官学連携プロジェクトにより以下の取組みを行った。

### (i) 安心ハート手帳(※2) 活用のための勉強会の開催

(令和6年9月18日(水))

看護師を対象に、急性心筋梗塞地域連携のために作成している安心ハート手帳活用に関する講演会を、オンラインにて、開催した。

テーマ「看護師が担う患者教育と指導～急性心筋梗塞地域連携～」

講演Ⅰ「虚血性心疾患患者に対する脂質マネジメント～地域連携と安心ハート手帳の活用～」

座長 香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男 先生

演者 香川県立中央病院循環器内科 主任部長 土井 正行 先生

講演Ⅱ「心筋梗塞患者への連携ツールを活用した教育・退院指導」

座長 香川県立中央病院循環器内科 主任部長 土井 正行 先生

演者 香川大学医学部附属病院 CCU 病棟 鈴木 ちはる 先生

ディスカッション / Q&A

座長 香川大学医学部循環器・腎臓・脳卒中内科学 教授 南野 哲男 先生

コメンテーター 香川県立中央病院循環器内科 主任部長 土井 正行 先生

香川大学医学部附属病院 CCU 病棟 鈴木 ちはる 先生

香川県立中央病院救命救急センター病棟 松田 彩 先生

香川労災病院東5病棟 増本 奈菜 先生

### (ii) 安心ハート手帳等循環器病に係る手帳普及啓発のためのポスター作成

主に急性心筋梗塞を罹患している患者が、安心ハート手帳、心不全手帳、血圧手帳、おくすり手帳を診察する医師などに提示することを促すポスターを作成した。

### ※1 産官学連携プロジェクト

香川県、香川大学、ノバルティス ファーマ株式会社は、循環器病の予防及び対策を通して、香川県民の健康寿命を延伸するための取組みを相互に連携・協力し、小児生活習慣病予防健診を通して次世代の虚血性心疾患予防、循環器病による死亡率の低下、循環器病患者の QOL の向上を目的とする産官学連携協定に基づいて、連携・協力して実施した取組みを実施した。(令和3年12月16日～令和6年12月16日)

### ※2 安心ハート手帳（急性心筋梗塞医療連携パス）

患者を中心に、急性期病院とかかりつけ医療機関が、治療の内容や目標、スケジュールを共有して、切れ目のない、質の高い医療を提供する仕組み。

手帳は、「急性心筋梗塞医療連携パス計画書」「あなたの治療の流れ」「急性期医療機関→かかりつけ医療機関への情報」「運動処方せん」「心筋梗塞後の症状や動脈硬化リスク因子の管理目標」「二次予防目標達成チェックリスト」「あなたの日々の生活の記録」等で構成されている。